

# 保育所の定員超過の対策は

## 入所定員に余裕ある



あさの しゅうち 議員  
浅野 修一

入所定員に余裕ある。認可、利用定員ともに80人。仮に、定員に達した後に入所希望があった場合には、他の保育所への入所をお願いすることになる。

し設定することが可能な定員。黒潮町全体では、認可定員380人に対し、320人の利用定員を設定しており、現在、279名の児童が入所している。認可定員に対し約100人、利用定員に対しては約40人の余裕がある。佐賀、くじら保育所は、

### 防犯対策

#### 防犯カメラの現状と対策は

カメラの増設  
今後とも検討

**問** 保育所および小中学校への防犯カメラ設置の現状と今後の対応は。

#### 答 藤本教育次長

現在、保育所、小中学校に防犯カメラの設置はないが、今年度、三浦小学校と佐賀駅近くの2カ所で申請している。防犯カメラには、学校施設への侵入者を監視する防犯システム（施設の長寿命化が条件）と、市街地に設置する、街頭防犯カメラと子ども見守りカメラがある。防犯システムについては、国庫補助3分の1が適用され、後者は、県から2分

### 防災・減災

#### 大橋から弘野へ道の整備を

条件面から  
困難と考える

**問** 入野松原キャンプ場北の大橋から弘野地区への道を整備できないか。被災時に避難道として有効であり、また平時には遊歩道として活用できるのではないか。

#### 答 徳廣情報防災課長

弘野地区の西側については、土佐西南大規模公園区域となっており、災害後における応急期の各種機能配置の検討をして

の1の補助がある。カメラ1台は60万円。街頭防犯カメラは、補助金の対象者が防犯活動に取り組み組合、もしくは団体などとなっていることから、町が設置する場合は子ども見守りカメラとして設置することとなる。今後カメラの増設に向け検討を進めたい。

町内における避難場所への経路となる避難道の整備については、本年度の施工箇所が完成すれば計画路線は全て整備されたこととなる。完了後の計画外の新たな路線については、基本的に整備する計画はない。現状では、新たな避難道の設置については地区からの要望があり、一定の整備する条件が整っているということがあったとしても、他の防災施策、また緊急度、優先度により、整備については検討する必要がある。大橋から弘野への避難道については、条件面から困難と考えている。

**問** 佐賀保育所とくじら保育所の定員は80名で、どちらの一部、もしくは全体で定員に達しようとしており、保護者の方は保育に不安を抱えている。執行部の考えと対策は。

#### 答 畦地教育長

定員には、認可定員と利用定員の2種類がある。認可定員は、保育所施設の設置時に、法に基づき認可された定員を要領で定めたもの。一方、利用定員は、それぞれの施設



子ども達の元気な声がひびく 黒潮町立くじら保育所